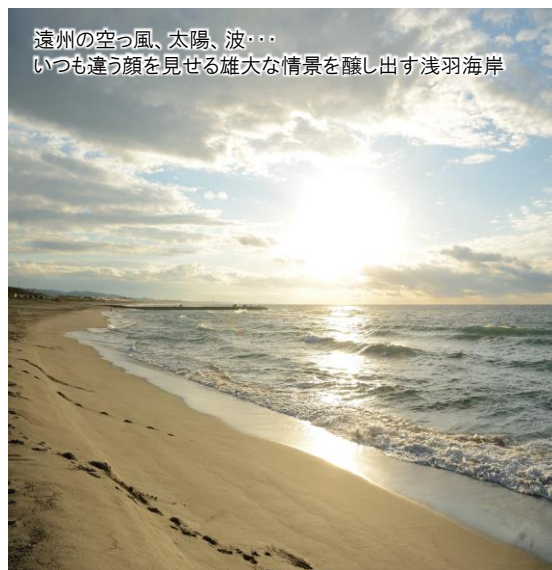


あさばかいがん 浅羽海岸

新しい時代の風を感じ、出会いと発見。
“癒し”と“楽しみ”を感じることのできる浅羽海岸。



遠州の空の風、太陽、波・・・
いつも違う顔を見せる雄大な情景を醸し出す浅羽海岸



スポーツ交流施設

ナショナルサイクルルート
雄舞6山(佐野殿)



江戸時代に築かれた命山



平成の命山

① 海に親しみ、やすらぎを感じること
ができる浅羽海岸

② 海と陸の接点
にぎわい・交流拠点“DORI(同笠) BLUE！”

③ 災害と共生し築き上げられた
歴史文化のまち

所在地	袋井市東同笠 他
面積	約700ha
施設	浅羽海岸、幸浦の丘（静岡モデル防潮堤整備事業）、浅羽体育センター、命山 他
アクセス	東名高速道路袋井インターチェンジ南 約20分

地形

浅羽海岸は、遠州灘に面し、東は二級河川弁財天川、西は二級河川太田川に挟まれた、東西約 6 キロメートルにまっすぐに伸びる海岸線をもつ。海の地形は遠浅で、海岸線には、静岡モデル防潮堤整備事業の一環で進められてきた、高さ12メートルの砂丘「幸浦の丘」が整備されている。また内陸部は、平坦な地形で、畑と既存集落地が広がる。

歴史

浅羽海岸は、過去には数百メートルに広がる砂浜を有し、太平洋に臨む壮大な情景と白砂青松の美しい景観をもつ遠州灘の一部として地域住民に愛されてきた。しかしながら現在は、海岸における人工的な構造物の建設や砂利採取などによって河川から海岸への土砂供給量が減少するなど、海岸浸食に脅かされる状況となっている。また内陸部の浅羽南地区（旧幸浦村）は、古くには高潮などにより度重なる被害を受け、特に1680年の「延宝の高潮」では村内の住家等に大打撃を与える災害が発生している。これを機に、村内には「大囲堤」と言われる、高さ 1 ～ 3 メートルの堤防が築造され、同時に、村人たちの命を守るための高台として「命山」も築造されるなど、先人の知恵によって村人の生活が守られ、災害と共生しながら集落が形成されてきた。

観光

浅羽海岸は、過去には地引き網などで多くの観光客や地元住民らによりにぎわいを見せる観光地となっていたが、海岸浸食等の影響もあり、現在事業は実施されていない。

現在は、遠浅の地形がもたらす変化の激しい波が、地元のみならず全国各地のサーファーなどの間でも有名となり、隠れメッカ的な場所として、多くのサーファーに訪問されている。また沿岸部には、国の指定を受けたナショナルサイクルルートとなる太平洋岸自転車道が通過し、市内外から多くの方々が訪れている。

2. 対象エリアの位置図

東名高速道路袋井IC

国道1号線バイパス

JR愛野駅

JR袋井駅

東海道本線

浅羽支所

国道150号

浅羽海岸





<同笠エリアの役割>

海と陸の接点として、人が集い海と親しみ、やすらぎと体験を通じて、
新たな挑戦を応援する交流拠点

海

●マリンアクティビティゾーン
海を感じ、海を学び、そして体感し、ワクワク感のある空間



陸

●にぎわい・交流ゾーン
海と陸の結節点として、新たなにぎわいを創出するための空間

●スポーツアクティビティゾーン
既存のスポーツ施設の利用者に加え、海をきっかけに集う人達も気軽にスポーツなどを親しむ
ことができる空間



浅羽海岸は、太平洋を望む雄大な情景から「親しみ、やすらぎを感じることができる場」と、海と陸を接点とした多様な主体との出会いから生まれる「にぎわい・活力創出の場」としての側面をもち、それぞれについて地域特性及び景観づくりを進める方向性を整理します。

本エリアの目指すべき景観像を、市民、事業者、行政が共有し、官民共創でまちづくりを推進します。

① 海に親しみ、やすらぎを感じることができる浅羽海岸

(1) 眺望・自然



遠州の空っ風が届ける潮の香りと遠浅の地形がもたらす青々とした海、個性ある浅羽海岸

太平洋を望む浅羽海岸は、白砂青松の砂浜と、太陽の光によって変化する海の色、遠州の空っ風が運ぶ潮の香りと波の音、遠浅特有の波の変化など、日々、移り変わるシーンを見せ、訪れる人々が自然の癒しと壮大さの両面を感じる眺望地点となっています。

砂浜の養浜や、地域・企業・サーファー・学校などが連携して取り組むビーチクリーン活動による海岸清掃や環境教育などにより、美しい自然環境を保全しつつ、海一面を眺めることのできる展望スペースや遊歩道の整備、また統一された案内看板の設置などを進め、浅羽海岸でしか味わえない地域のシンボルとしていくことが必要です。



まっすぐに伸びる海岸線 6 キロの砂丘（防潮堤）と自転車道

沿岸部の津波対策として整備された防潮堤は、砂丘という自然を活かした構造で公園機能を有し、また防潮堤に隣接して、ナショナルサイクルルートにも指定された太平洋岸自転車道が走り、これらの施設が一体となって、地域や訪問者の憩いの場として活用されています。

防潮堤に整備された防風林などの保全活動を継続して実施するとともに、初めて訪れる訪問者にもわかりやすい案内看板の設置が必要です。

(2) 環境



環境教育の充実

浅羽海岸では、絶滅危惧種であるアカウミガメの放流会等の実施などを通じて、環境保護活動の場としても活用されています。

浅羽海岸が、環境教育の場として、そして、長い将来にわたり、ウミガメが安心して産卵できる場所であり続けられるよう、地域や自然保護団体などと連携した継続的な取り組みが必要です。

<景観形成の主な課題>

○ハード対策

- ・海岸をゆっくりと眺められる視点場や遊歩道の不足
- ・施設周辺の案内看板等が老朽化、かつ不足

②海と陸の接点 にぎわい交流拠点 “DORI（同笠）BLUE !!!

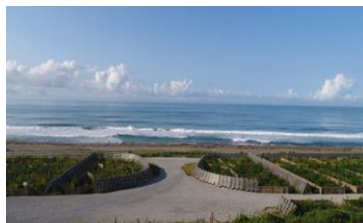
(1) 観光・にぎわい



スポーツ・アクティビティを楽しむ隠れメッカ「同笠（どうり）海岸」

同笠海岸は、遠浅という特有の地形をもち、“良い波が立つ”との口コミから多くのサーファーの集結地として、また釣り人の間ではキスやヒラメの釣り場として人気が高い場所となっており、防潮堤と海の間を海に沿って走る自転車道は、ナショナルサイクルルートの一部にも指定されるなど、全国各地からの訪問者が絶えないスポットとなっています。

このような方々が、ゆつくりと快適な環境の中で楽しみ、リピーターとしての利用を促すために、シャワー施設や水洗い場、また海岸利用者のための駐車場などの環境整備が必要です。



海を望む自然と一体となった公共空間

砂丘という自然を活かした防潮堤整備により、海を望む大きな公共空間が創出され、ウォーキングなどを楽しむ地域住民やサイクリングなどの訪問者が滞在できる休憩場所として利用されています。

防潮堤に整備された公共空間は、自然を体全体に感じ、そして安全な中で広い空間が確保できるため、より効果的に多種多様な活用ができるように、周辺景観にも馴染み、個性ある段床展望スペースなどの環境整備が必要です。



既存のスポーツ施設との連携によるにぎわい創出

海岸に隣接する内陸部には、体育館やテニスコート、野球場などのスポーツ施設のほか、芝生広場や親水公園もあり、地域住民の憩いの場として利用されています。

これらの施設と海が接点を持つことで、このエリアに集う市民やスポーツ施設等利用者が交流し、新たなにぎわいを創出する結節点としての相乗効果を生み出すため、既存施設の活用とともに、交流スペースやトイレ、多目的にも活用できる駐車場の確保などの環境整備が必要です。

(2) 健康



自然の癒しとアクティビティによる健康促進

浅羽海岸では、海岸線に整備された遊歩道やナショナルサイクルルートなどを活用する余暇活動の充実、また隣接する内陸部のスポーツ施設での本格的なスポーツ活動など、健康促進につながる交流活動が進められています。

こうしたエリア特性を活かして、人々の充実した暮らしと健康促進につなげていくため、スポーツやマリンレジャーの体験教室など、気軽に楽しめる運動機会の創出を図るなどの取り組みが必要です。

<景観形成の主な課題>

○ハード対策

- ・海岸利用者が快適に利用するためのシャワー施設や水洗い場、駐車場の不足
- ・海岸の効果的な活用を生み出す魅力的なスペースがない
- ・海岸と内陸部スポーツ施設利用者が双方に交流できる休憩施設とトイレ、駐車場などが不足

③災害と共生し築き上げられた歴史文化のまち

(1)歴史的景観



海岸保全による良好な景観形成と防災対策の強化

沿岸部を背負う浅羽地域では古くから高潮被害に悩まされ、大囲堤、防潮堤等、住民の命を守る対策が進められてきたという歴史があります。東日本大震災以降、標高12メートルの防潮堤の整備が進められ、整備にあたっては砂丘という自然を活かした盛り土構造で、地域住民による植樹などを施し、市民の命を守る地域のシンボルとなっています。また、近年進む海岸浸食への対応として、全国的にも稀なサンドバイパスシステムもあります。

今後も引き続き、地域、企業、行政が連携して取り組むグリーンウェーブ活動やビーチクリーン作戦による保全活動を通じて、地域住民が地域への愛着を持ち、守り育てていく意識の醸成が必要です。



先人の知恵に学ぶ「平成の命山」

浅羽地域には、江戸時代の村人たちによって築造された人工の築山（命山）が現存し、災害の歴史が語り継がれています。東日本大震災以降、先人の知恵を生かして、津波から市民の生命を守るため、「平成の命山」が整備され、避難施設としての機能だけでなく、地域住民の憩いの場としても活用され、江戸時代に築造された命山と併せて、地域のシンボルになっています。また地上高10mの平成の命山からは、広大な田園風景や後背地の丘陵など豊かな自然景観を一望し、遠方には富士山を眺めることもでき、本市の眺望地点にも指定されています。

浅羽地域が、先人の知恵で災害と共生し、築き上げられてきたまちであることを誇りに持ち、人々に語り継がれるよう、歴史教育、広報の充実、また案内看板の整備などが必要です。

(2)移住・定住

空き家等の活用による新たなライフスタイルの提案

浅羽地域は海だけでなく、のどかな田園風景など、豊かな自然環境、良好な景観に恵まれ、さらに歴史的資源にも恵まれた、住み心地の良い穏やかなまちです。

「仕事」と「暮らし」と「遊び」が融合した、その先にある新しい価値の体現（海のある暮らし）とその発信に取り組むとともに、移住・定住の促進を目指します。

<景観形成の主な課題>

- ・それぞれの施設へ誘導するための案内看板の不足
- ・眺望地点となる施設での説明看板の不足

新しい時代の風を感じ、出会いと発見。 “癒し”と“楽しみ”を感じる浅羽海岸 “DORI(同笠) BLUE！”

地域住民の視点

- ・防潮堤展望スペースを人が集う空間にして欲しい
- ・防潮堤と体育センターの間をウォーキングなどで周遊したい
- ・シンボリックでランドマーク的なものがあるといい
- ・防潮堤へ車で進入できるようなアクセスの整備をして欲しい
- ・砂浜から見える場所に駐車場が欲しい（防犯対策）
- ・水道施設・公衆トイレがあるといい
- ・利用者の安全のため階段に手すりが欲しい
- ・案内看板が欲しい
- ・海岸浸食対策をしっかりとって欲しい
- ・広域にある資源を活かし、交流型のおもてなしが必要
- ・老朽化で故障しているふれあい親水公園の機能回復を望む
- ・屋外イベントやマルシェの開催等、多目的で利用できる整備を進めて欲しい
- ・マリナクティビティ等の利用も踏まえた休憩施設が欲しい
- ・地引き網を復活させたい
- ・高齢者が参加できるイベントがあると嬉しい
- ・海岸線を5キロメートル以上走れる環境は素晴らしい
- ・ナショナルサイクルルート等を活用し、自転車の試乗会やレースをやりたい
- ・サーフィンのスクールを開催したい
- ・キャンプ、星空観察会など自然体験ができる空間にしたい

有識者の視点

- ・同笠エリアのシンボルとなり、案内やサインに表示するロゴデザインは、地域の特色を表すものを選定する必要がある
- ・ロゴデザインを含め、空間に一体感が出るよう、意匠等を統一させるといい
- ・段床展望スペースは、ここにしかないというデザイン性と機能性を兼ね備え、いつ誰が来てもフィットする場所を選べるよう配慮すべき
また、万が一流されてしまっても危害を与えない素材を使用する必要がある
- ・本エリアの目指すべき景観像を、市民、事業者、行政が共有し、官民共創でまちづくりを推進していくべき

目標 1

多様な顔をもつ海に触れ
親しみやすさを感じる景観づくり



目標 2

海と陸の接点となる
交流拠点整備によるにぎわい創出



目標 3

災害と共生し築かれた
歴史的景観の継承と活用



景観づくり方針

- ①多様な顔を持つ浅羽海岸の魅力を時間を忘れて滞在できる居場所づくり
- ②自然と共生する地域づくりの取り組み

景観づくり方針

- ①海のにぎわいを創出する個性ある公共空間の整備
- ②海を接点に多様な主体が健康文化を体験する環境整備

景観づくり方針

- ①歴史的景観の継承と観光資源としての活用に向けての誘導看板の整備

目標 1 多様な顔をもつ海に触れ親しみやすらぎを感じる景観づくり

方針 1－① 多様な顔を持つ浅羽海岸の魅力を時間を忘れて滞在できる居場所づくり

	取組み	実施主体
短期	【周囲の環境や構造物と調和し、色彩やデザインに配慮する】 ①歩行者道路（遊歩道）の整備 ②階段の整備 ③周辺的环境と調和する案内・サイン板等の設置	●市 ●市 ●市
中・長期	④海岸の保全活動（ビーチクリーン等） ⑤防風林の維持管理と保全活動	●市、地域住民、企業、海岸利用者 ●県、市、地域住民、企業

方針 1－② 自然と共生する地域づくりの取り組み

	取組み	実施主体
短期	④海岸の保全活動（ビーチクリーン等） ⑤防風林の維持管理と保全活動	●市、地域住民、企業、海岸利用者 ●県、市、地域住民、企業
中・長期	④海岸の保全活動（ビーチクリーン等） ⑤防風林の維持管理と保全活動 ⑥地引網、キャンプ、星空観賞等、海岸を核とした地域交流活動	●市、地域住民、企業、海岸利用者 ●県、市、地域住民、企業 ●県、市、地域住民、企業

目標2 海と陸の接点となる交流拠点整備によるにぎわい創出

方針2-① 海のにぎわいを創出する個性ある公共空間の整備

	取組み	実施主体
短期	【周囲の環境や構造物と調和し、色彩やデザインに配慮する】 ⑦シャワー施設及び水洗い場の整備 ⑧段床展望スペースの整備 ※周辺景観にも調和しつつ、ここにしかない特徴的で個性ある公共空間を整備 ⑨車両進入路の高質化 ⑩海辺の駐車場整備 ⑪南北通路交流スペースの整備 ⑫ふれあい親水公園の環境整備	●市 ●市 ●市 ●市 ●市 ●市

方針2-② 海を接点に多様な主体が健康文化を体験する環境整備

	取組み	実施主体
短期	【周囲の環境や構造物と調和し、色彩やデザインに配慮する】 ⑬海と内陸部との接点となる休憩交流施設とトイレの整備 ⑭進入路付近高質修景及び大規模駐車場の整備 ⑮RVパーク整備 ⑯アーバンスポーツ施設の整備 ⑰芝生広場一体化改修 ⑱スポーツやマリンレジャーの体験教室の開催などによる健康促進活動 ⑲ナショナルサイクルルート利用者等、県内外からの訪問者への周知・啓発	●市 ●市 ●市 ●市 ●市 ●市、地域住民 ●市、地域住民、企業、海岸利用者
中・長期	⑱スポーツやマリンレジャーの体験教室の開催などによる健康促進活動 ⑲ナショナルサイクルルート利用者等、県内外からの訪問者への周知・啓発	●市、地域住民 ●市、地域住民、企業、海岸利用者

目標3 災害と共生し築かれた歴史的景観の継承と活用



方針3—① 歴史的景観の継承と観光資源としての活用に向けての誘導看板の整備

	取組み	実施主体
短期	【周囲の環境や構造物と調和し、色彩やデザインに配慮する】 ②⑩歴史的資源や眺望地点への誘導看板の整備 ②⑪景観眺望地点の指定 ②⑫歴史的資源や眺望地点の維持管理、保全	●市 ●市 ●市、地域住民
中・長期	②⑪景観眺望地点の指定 ②⑫歴史的資源や眺望地点の維持管理、保全	●市 ●市、地域住民

7. 景観施策(案)のイメージ図

凡例 紫字…短期的な取り組み
緑字…中・長期的な取り組み



7. 景観施策(案)のイメージ図

凡例 紫字…短期的な取り組み
緑字…中・長期的な取り組み

